

光照院たより

発行：(宗) 光照院
発行日：令和6年5月14日
台東区清川1-8-11
TEL. 03-3872-8487
FAX. 03-3875-5485

能登半島地震被災地にて

住職 吉水岳彦

令和6年元日に発生した能登半島地震には、皆様も驚かれたことと思います。光照院では、災害で亡くなられた方の極楽往生を祈るとともに、出来るだけ多くの方が助かることを願って、1月6日に別時念佛会を開催いたしました。近隣の檀信徒やボラン

ティア、光照院仏教青年会員が集まり、一心に念佛いたしました。その後、すぐに在日ベトナム仏教徒グループ「随縁禅室」から10万円、お越しの方々や知人等から集まった70万円を石川県七尾市の全壊寺院にご送金いたしました。続いて、1月31日



能登半島 災害がれきの下の桜

2月1日には、九州の浄土宗僧侶の支援団体「テラ・ネット」や大正大学学生、光照院仏教青年会員と共に、石川県七尾市小丸山小学校避難所で炊き出しを行い、2月2日〜4日まで「随縁禅室」や光照院仏教青年会員と共に石川県七尾市内の複数の避難所で炊き出しを行いました。さらに、こども極楽堂で活動している「あむりた」というグループの協力のもと、慰問品250セットを作り、これも珠洲市や七尾市などの避難所にお届けしました。この他、最も震源地に近い地域である珠洲市で井戸を掘る支援活動に、水脈に差し込む管の溶接や発電を行う機械、井戸

をくみ上げるポンプの費用として50万円の寄付も届けました。こうした活動の一端は、別紙の新聞記事に紹介されています。

3月以降も、光照院は、他の団体と協働しながら、避難所における無料医療相談会やハーブティーやバルーンアートを生かした茶話会等、さまざまな活動を行いました。拙寺の活動に協力してくださる方の中には、免許がなくても使用できる重機をがれき撤去のためにご寄進くださる方もあり、おかげで支援活動を継続することができています。

とはいえ、これで被災地域の人が救われたとはいえません。ある男性は、長年働いてきた会社の退職金など持てる財産のすべてを使って家を購入し、家族を養育ててきました。また、前

の災害で壊れたお墓も、亡き父母や先祖に喜んでもらい、子どもたちにも負担をかけたことなく、自分たちで綺麗に治したと言います。でも：。30年以上、積み重ねてきた努力の結晶も地震が起きたら、たった一瞬で喪ってしまうのです。誠に恐ろしいことです。

「わたしの今までの人生の意味は何だったのだろうか？」と、すべてを捧げた家や家族の居場所を失い、すぐに再建するような体力も、お金も、人生の時間もありません。いったい、何を希望に生きたらいいかと、心中のツラさを吐露されました。さらに、「孫から、『ねえ、いつになったら家族みんなで食事がとれるの?』と、無垢な瞳を向けられて…。何の言葉も出さず、ただ涙をこらえながら、抱きし

めた」といいます。

災害の苦しみは、死者が少なければ軽いというわけではありません。家や地域が壊れてしまいう中で、生活も大いに変化し、生きていく力が喪われるようなツライ思いをする方も多くいらっしゃいます。

無常の世において、わたし達が人生の基盤と思っているものは、一瞬にしてはかなく崩れてしまうことがあると、活動で出会う人々から、深い悲しみと共に教えられたように思います。もし、わが身にそのような大きな喪失が訪れたとしたら、わたし達はいつたい何を生きる支えとすることができるとしようか。

同じ無常の世を生きる者同士、信仰を杖や柱として助け合い、学び合っていくことの大切さを噛みしめました。合掌

「正僧正」叙任式

令和6年4月6日、法然上人の浄土宗開宗850年を祝う法要が営まれる増上寺にて、光照院先代住職の裕光上人が、浄土宗僧侶の最高位である「正僧正（じょうそうじょう）」に任じられました。あわせて、総代本山の住職と同じ緋色の法衣を身につけて良いとの許状も頂戴しました。これは、先々代住職の現祐上人と同じ僧侶の位に達したというのですが、このように2代続けて叙任する寺院はほとんどありません。これも歴代の住職を支えてくださった檀信徒の皆様のおかげさまであると、心から感謝を申し上げます。

この度の正僧正叙任に際して、先代住職は「特別な僧侶としての位を欲したことは今ま

でなかったけれども、今日、僧侶として、念佛者として生きてきたことを評価してもらえたことは、ひとえに檀信徒の支えによるものです。このように支えてくださった皆様のご恩に報いるべく、今後は、ますます多くの人の救いと幸せを願ってお念佛に励

むとともに、この身が続くかぎり、苦しんでいる人々のために尽くしたい」と話しておりました。早速、今年の施餓鬼法要から、緋色の法衣に身を包み、法要の導師を務めるそうです。当日、あらためて皆様に感謝の気持ちを述べさせていただきます。

(住職)



浄土宗僧侶の最高位「正僧正」の叙任式
花束を渡され、少しはにかんだ笑顔の先代住職

施餓鬼会について

拙寺では、6月9日（日）に檀信徒の皆様や関係寺院住職をお招きして、施餓鬼法要を厳修する予定です。

今年もまだ新型コロナウイルスが流行しています。ですので、手指消毒、マスクの着用などの感染症対策をご参列の皆様にはお願い申し上げます。

まずは、皆様が心身ともにお健やかであることと、早く安心して暮らせるようになることをお祈り申し上げます。

《日程》

6月9日(日)

13時 法話

14時 法要

15時 終了

※法要の出欠と塔婆の申込、ご参詣の人数を同封のハガキにて必ずお知らせください。

※当日の昼食のご用意はございません。



盂蘭盆会のご案内

光照院本堂で行うお盆の御回向の日時を定めました。ご希望の方は6月末日までにお寺(03-33872184)へご連絡下さいませ。お盆のお塔婆もあわせてお申し付け下さい。

〈盂蘭盆会日時〉

● 7月13日(土)

13時半・15時

● 7月14日(日)

11時

● 7月15日(月) 祝日

11時・13時

※ご出席の場合は、ご回向する御位牌を必ずご持参下さい。

※他の檀信徒との合同の盆供養です。手指消毒とマスク着用にご協力をお願い申し上げます。

お念佛会

ねんぶつかい

光照院では、毎月お念佛とお写経を行う会を行っております。開催日は、基本的には毎月第3土曜日の15時から2時間を予定しています。光照院の檀信徒に限らず、大切な人を亡くしたさまざまな方がご参加くださっています。

現在はオンライン参加と現地参加(少人数)の2つの方法で続けております。夕方の16時半からYouTubeの「為先会のお念佛」というチャンネルにて、ご参加いただいております。もしよろし

ければご参加をお待ちしております。

〈お念佛会の流れ〉

14時半 茶話会
15時 写経
16時半 法話
17時 念佛回向
18時頃 終了

※お写経は、現地参加の人のみを対象にしています。

光照院行事予定

2024年

● 6月9日(日)

施餓鬼会法要

● 7月13日(土)

お盆(新暦)

● 8月13日(土)

お盆(旧暦)

● 9月19日(土)

秋のお彼岸

● 11月10日(日)

十夜放生会法要

※お盆にご自宅をおたずねして念佛回向を行う柵経は、都内であれば7月9日～16日、

東京以外の地域であれば8月8日～16日に行う予定です。新盆を向けるお宅は、少しお早めにお寺にご都合を教えてください。よろしくお祈り申し上げます。

日頃の支縁に御礼

日頃より、光照院や住職の行う生活困窮者や子どもへの支援活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。昨年も、多くの檀信徒様から頂戴したお寺へのお供物やご支援の品を困窮世帯や外国籍の方々を活用させていただいております。

ちなみに、昨年度にひとさじの会や光照院から提供した食品は、お米だけで4.7tに及びます。また、能登半島地震や石巻のいのり大佛建立にも多大なご協力を

有難うございます。この場をお借りして感謝を申し上げます。合掌

聡穩基金奨学生

アンさんは、日本に暮らす外国人技能実習生等の支援を行っているティック・タム・チー師の弟子です。現在は大正大学に在籍して、毎日朝から晩まで、大学に居られる限り、寸暇を惜しんで勉強をしています。その学ぶ姿は、他の学生の善き刺激となつています。とはいえ、生活費を



聡穩基金奨学生のアンさん

切り詰めて勉強にあてているとのことでした。光照院総代世話人会にて審議の上、聡穩基金から36万円の奨学金をお渡しすることになりました。今年度の卒業論文を提出したら、光照院にも法話に来ていただきます。皆様お楽しみに (住)

編集後記

先日、ラハイナ浄土院ご住職様から、ハワイ大火災の慰問金の領収証と共に、春彼岸のお写真

を頂戴しました。街全体が焼失した大火の傷跡は大きく、健康を害する科学物質の除去も必要で、立ち入り禁止期間も長く続いたといえます。円安や他の災害の影響もあつて、寄付金が思うように集まらず、本堂の再建はもちろんのこと、

地域の人々の日常生活の復興にもまだまだ時間がかかりそうです。そんな現実にも無常の恐ろしさを感じる一方で、笑顔の子らの写真を拝見すると、新たな街が形成されていく様子が思い浮かび、無常のうちにも希望を感じました (住)



光照院の花手水(はなちょうず)

昨年から、信徒さんが光照院のつくばいにお花を活けてくださるようになりました。目にしただけで心も華やぎますね！

お佛具料ご寄進

爲 栄号和鳴信士靈位 三回忌追善菩提 一金壺拾萬圓

施主 郷 浩康殿

爲 谷平家先祖代々一族先亡之諸精靈位追善菩提 一金貳拾萬圓

施主 谷平家孫一同